

平成29年度 基本評価調査

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	所管部局	環境生活部	作成責任者	環境生活部長 小玉 俊宏	施策コード	03 - 17
		照会先	スポーツ振興課調整グループ (内24-412)	関係課	スポーツ振興課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		3	人・地域	(5)	世界に飛躍するスポーツ王国北海道の実現	B	世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成	本道出身のオリンピック・パラリンピック出場者数
北海道創生総合戦略	A4111,A4113,A4114,A4115		北海道 強靱化計画		新・北海道 ビジョン	C02715,C02716,C06307,C06308,C06309,C06808,C07701,C07703,C07801,C07902,C07903		
特定分野別計画等	北海道スポーツ推進計画							

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・本道の競技スポーツは、特に冬季スポーツで目覚ましい活躍が見られてきたが、競技力を引き続き高めていくためには、競技人口の減少や指導者の確保などへの対応が必要となっている。 このため、世界の舞台で活躍する競技者の育成などが必要。</p>				施策目標	<p>・道民のスポーツへの関心を高めるため、国際レベルの競技大会やスポーツ合宿の誘致などを推進する。 ・世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成を目指し、戦略的な選手強化及び指導者の充実により競技力の向上を図る。</p>			
	政策体系	役割等		政策体系		役割等		施策の予算額	
施策の推進体制 (役割・取組等)	3(5)B	【競技大会・合宿の誘致】 〔道〕市町村等が誘致する大会や合宿に対する支援や道内関係団体等との連携、「北海道『東京オリンピック・パラリンピック』プロジェクト」(北のTOPプロジェクト)に係る取組の推進 など 〔国〕誘致市町等に対する支援など 〔市町村・民間〕国際大会や合宿誘致の企画立案など 〔札幌市〕冬季オリンピック招致に向けた気運醸成や各種取組の推進など		3(5)B	【競技力の向上】 〔道〕有望選手(小中学生)の発掘育成、北海道体育協会が行う選手強化等に対する支援など 〔国〕道などが行う競技力向上に向けた取組みに対する支援など 〔市町村・民間〕競技力向上に向けた連携など		H27	133,014	
							H28	842,589	
							H29	320,009	

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	3(5)B	<p>【競技大会・合宿の誘致・競技力の向上】</p> <p>◎カーリング・スケルトン・バイアスロンでの有望選手発掘・育成</p> <p>◎競技団体が実施する強化合宿への補助</p> <p>○地域における障がい者スポーツ推進体制整備、スポーツ・芸術活動の推進</p> <p>◎国体への選手の派遣に対する支援</p> <p>○2020東京オリパラ開催に伴う波及効果を本道の経済活性化や地域振興に結びつけるため、関連施策の総合的な推進を図ることを目的に当課で事務局を担う「北海道『東京オリンピック・パラリンピック』プロジェクト」(北のTOPプロジェクト)に係る取組の推進</p>		

<前年度意見への対応>

前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)		付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)	

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
3(5)B	◎北海道体育協会が実施する、主にジュニア選手を対象に、基礎体力養成や実践的技術力養成、道外の競合選手・チームとの対抗試合を取り入れた強化合宿の参加者に対し参加奨励費を支援し、スポーツ競技力の水準向上を図った。 (H28:道内合宿44種目、道外合宿23種目、延べ2,744人)			C06307,C06308,C06808,C07902,C07903	
3(5)B	◎国体に参加する選手・監督等の派遣に対する経費を支援(H28:本大会878人、冬季大会164人)			C07903	
3(5)B	◎カーリング・スケルトン・パイアスロンの有望選手発掘・育成(H28:選手数25名、プログラム実施日数延べ1,283日)			c06307,C06308,c07902,c07903	
3(5)B	○地域における障がい者スポーツ推進体制整備、スポーツ・芸術活動の推進 (北海道障がい者スポーツ大会(H28:留萌市)、スポーツ・文化体験交流イベント(H29:網走、稚内、函館))			c04305,c04605	
3(5)B	○2020東京オリパラ開催に伴う普及効果を本道の経済活性化や地域振興に結びつけるため、北のTOPプロジェクトに係る取組の推進(専門部会合同会議を年1~2回実施)	A4114		c07707	

(2) その他の取組の成果等

国等提案・ 要望状況	道内団体等の要望を受け、以下のとおり要望を実施 H29.7.20 2026年冬季オリンピック・パラリンピックの招致及びスポーツ環境向上に向けた施設整備に対する支援の充実について、文部科学省へ要望を行った。	施策に 関する 道民ニーズ	H29.6.12 北海道市長会より合宿の誘致や合宿に係る施設整備支援に関し要望 H29.7.4 上川地方総合開発期成会より冬季ナショナルトレーニングセンターの誘致や合宿に係る施設整備支援に関し要望 H29.7 連合北海道より国際スポーツ大会や合宿の誘致に関し要望 こうした要望を受け国への要望を行っている。
---------------	---	---------------------	--

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	施策コード	03 - 17
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(5)B	有望選手発掘・育成事業に係る青少年育成施設の使用及び小中学校への周知協力	—	教育庁生涯学習推進局生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 教育庁生涯学習課が所管する青少年育成施設において選考会を実施 各教育局企画総務課に対し、選考会実施に関する小中学校への周知協力を依頼
		—	各教育局企画総務課	
3(5)B	「北海道『東京オリンピック・パラリンピック』プロジェクト」(北のTOPプロジェクト)における関係部局間の情報共有・連携し、互いの事業でPRを実施する。	—	総合政策部政策局	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリパラに向けた各種取組に関連する情報共有のため、北海道「東京オリンピック・パラリンピック」プロジェクト専門部会合同会議を年1~2回開催(事業でのPRは食の海外PRなどの機会を捉えた合同PRなどを実施)
		N0601	農政部食品政策課	
		N0701	水産林務部林業木材課	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
民間団体のノウハウを活用し、本道スポーツの振興と指導者の養成を図る。	(公財)北海道体育協会	・スポーツ指導者ブロック研修会を道内4箇所(札幌、新ひだか、苫前、帯広)で開催し、指導者の資質向上に取り組んだ。
民間団体のノウハウを活用し、地域における障がい者スポーツ推進体制の整備、スポーツ・芸術活動の推進を図る。	(公財)北海道障がい者スポーツ協会	北海道障がい者スポーツ大会の実施(H28:留萌市)及び特別支援学校等において障がい者が芸術、スポーツに触れる機会をつくる(今年度は10~12月を予定)
	(公財)北海道文化財団	
「オール北海道」での協力のもと、冬季オリンピック招致に向け機運の醸成を図る。	札幌市	大会招致に向けた機運醸成のため、国への要請(29年7月) 北海道・札幌市冬季オリンピック・パラリンピック招致推進連絡会議プロジェクトチーム(H29.6)を開催し、招致に向けた協議を実施

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	施策コード	03 - 17
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
	基準年度	夏h24(ロンドン) 冬h26(ソチ)	年度	h29	最終年度	h37					
本道出身のオリンピック・パラリンピック出場者数(人・暦年)	基準年度	夏h24(ロンドン) 冬h26(ソチ)	年度	h29	最終年度	h37	達成度合	A	評価年度	H28	H28年度開催のリオデジャネイロ大会において、前回大会(H24ロンドン)以上の20人が出場し、進捗率が100%を超えており、国体や強化合宿参加への支援や有望選手の発掘育成など、競技力向上に向けた様々な事業による効果が着実に現れている。
	基準値	夏17人、 冬60人	目標値	-	最終目標値	前回大会以上	年度	H28	H29	進捗率	
【指標の説明】 本道出身者で、夏季・冬季オリンピック又はパラリンピックの出場者数。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	17	-		
	北海道総合計画 北海道スポーツ推進計画		3(5)B	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	20	-		
							達成率	117.6%	-		

主① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	C	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37					
道産食品輸出額(億円)(暦年)	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37	達成度合	C	評価年度	H28	特定分野別計画である「北海道食の輸出拡大戦略」においては、輸出環境の変化等に対応しながら、平成30年に目標達成を目指すものとして生産者団体等関係機関・団体との合意形成を図っているほか、道民意見募集においても同様の目標設定を行っているため、中間年の目標は設定していない。 このため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定しており、関係者と一体となった取組を行っているが、平成26年の大型低気圧などの影響によるホタテガイの減産等に伴い目標には達しなかった。
	基準値	663	目標値	918	最終目標値	1500	年度	H28	H29	進捗率	
【指標の説明】 道内港(港湾、空港)で通関し、直接海外へ輸出された道産食品の輸出額。財務省函館税関「貿易統計」から北海道で独自集計。平成30年に輸出額1,000億円という目標を達成し、以降それ以上をめざすこととしている。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	833.0	918.0	1500.0	
	北海道総合計画 北海道食の輸出拡大戦略		2(5)A	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	702.0	-	702.0	
							達成率	84.3%	-	46.8%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由

● 達成度合について

	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調査

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	施策コード	03 - 17
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画(事務事業)(目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式2)

Do and Check

4 事務事業の設定

4-2 事務事業の評価

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強 靱 化 計 画	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価			
							事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)						点検事項		方向性	
								うち 一般財 源	本 庁	出 先 機 関							人 工 計	付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)		推 進 事 項
1111	3(5)B		北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費	北海道マラソン大会の実施及び規模拡大や国際化に向けたシンポジウムの開催やソウル国際マラソンとの相互交流事業の実施、次年度以降の規模拡大に向けた関係機関との協議、調整等	スポーツ振興課		481	481	1.4	0.0	1.4	11,681							現状維持	
1112	3(5)B		国民体育大会派遣費補助金	(公財)北海道体育協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業に対する補助事業	スポーツ振興課		116,091	116,091	0.2	0.0	0.2	117,691								縮小
1113	3(5)B	主①	スポーツ競技力向上推進事業費補助金	(公財)北海道体育協会が実施する選手強化事業等に対する補助事業	スポーツ振興課		65,031	65,031	0.2	0.0	0.2	66,631								縮小
1114	3(5)B		スポーツ団体活動費補助金	本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、(公財)北海道体育協会が行う事業に対する補助事業	スポーツ振興課		4,389	3,889	0.2	0.0	0.2	5,989		基金設置時からの社会経済情勢等の変化やこれまでの事業実績などを踏まえ、成果指標の設定及び事業内容の見直しについて検討すること。	これまでの課題等を整理し指標の設定やそれに対応した事業展開などを検討する。	基金設置時(S49)と比較して運用益は減少しているが、運動習慣の定着や子どもの体力づくり等の観点から重要性を増しているため、地域スポーツ団体活動の活性化に向け効果的な支援を検討する。				縮小
1115	3(5)B		障害者スポーツ振興費	障害者の体力維持や残存能力の向上を図るためのスポーツ大会等の実施に対し助成する。(保健福祉部から移管)	スポーツ振興課		44,017	28,347	0.5	0.0	0.5	48,017	○	新規会員の確保等による自主財源の確保、事務事業の見直しによる経費の削減など、道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るような収支改善策を検討し、団体の自立化を推進すること。	会員数の増加による会費収入の増や事業の見直しによる経費の削減などについて、引き続き団体と協議していく。	会員数の増加による会費収入の増や派遣役員数の見直しなど事業の見直しによる経費の削減などについて、引き続き団体と協議していく。				現状維持

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強靱 化計 画	新・ 北海 道ビ ジョン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価		
							事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)						点検事項		方向性
								うち 一般財 源	本庁	出先機関							人工計	付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)	
1116	3(5)B		オリンピック・パラリンピック大会の招致及び開催効果の波及	冬季オリンピック・パラリンピック大会の誘致を推進するため、札幌市をはじめとする関係団体と連携し、取組を進める。 東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に伴う波及効果を、本道の経済活性化や地域振興につなげるため、北のTOPプロジェクトや国が進めるホスティータウン構想などの取組を進める。 東京オリンピック・パラリンピックや各種国際スポーツ大会に合わせ、各国のスポーツ合宿の誘致を図る。	スポーツ振興課		0	0	3.3	0.0	3.3	26,400	○		○			現状維持	
1117	3(5)B		スポーツコミッションの設立	北海道におけるさらなるスポーツの振興を図るため、庁内関係部署や関係団体と連携し、スポーツコミッションの設立に向けた取組の推進	スポーツ振興課		0	0	1.0	0.0	1.0	8,000	○		○			拡充	
1118	3(5)B		冬季アジア札幌大会開催費補助金	平成29年2月に札幌市・帯広市で開催される第8回アジア冬季競技大会の開催費用に対する助成	スポーツ振興課		0	0	0.0	0.0	0.0	0						終了	
1119	3(5)B		女性アスリート育成・支援プロジェクト事業費	研究・開発途上にある女性アスリートに対する効果的な支援のあり方の確立、恒常的な国際競技力の向上	スポーツ振興課		45,000	0	0.3	0.0	0.3	47,400				○		終了	
1120	3(5)B		地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業費	競技者育成に関わる関係団体間の連携による発掘・育成プログラムの開発などの取り組みを通じ、競技力向上を図る	スポーツ振興課		30,000	0	0.3	0.0	0.3	32,400				○		終了	
1121	3(5)B		北海道Specialプロジェクト事業費	スポーツ・文化・教育が一体となった障がい者スポーツの振興に資する取り組みを行う	スポーツ振興課		5,000	0	0.2	0.0	0.2	6,600				○		終了	
1122	3(5)B		スポーツ王国北海道事業費(北海道パラアスリート発掘プロジェクト)	東京パラリンピックなどの国際大会に向けて有望な選手を発掘し多くの道出身選手の活躍を目指すとともに、障がい者が地域においてスポーツに親しむことができる環境を整備する	スポーツ振興課		10,000	2,000	0.2	0.0	0.2	11,600				○		縮小	

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業 費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強靱 化計 画	新・ 北海 道ビ ジョン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価		
							事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)						点検事項		方向性
								うち 一般財 源	本庁	出先機関							人工計	付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)	
計						0	320,009	215,839	7.8	0.0	7.8								

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	施策コード	03 - 17
-----	--------------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(5)B	1		1			C指標あり	<本道出身のオリンピック・パラリンピック出場者数【A】> ・H28年度開催のリオデジャネイロ大会において、前回大会(H24ロンドン)以上の20人が出場し、進捗率が100%を超えており、国体や強化合宿参加への支援や有望選手の発掘育成など、競技力向上に向けた様々な事業による効果が着実に現れている。 <道産品輸出額【C】> ・平成26年の大型低気圧などの影響によるホタテガイの減産等に伴い目標には達しなかった。 ・北のTOPプロジェクトによる関係部局間の取組をより一層推進し、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う波及効果を本道の活性化に結びつける取組をより一層、推進する必要がある。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	1	0	0	C指標あり	
	2						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・競技大会・合宿の誘致及び競技力の向上に関して、効果的な取組を推進していることが認められる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	・2026年冬季オリンピック・パラリンピック招致に向けた機運醸成のため、国への要請を行った(29年7月)
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・ナショナルトレーニングセンターや国際スポーツ大会の誘致や合宿に係る施設整備支援について関係期成会等の要請に基づき国へ要請を実施した。 ・各市町村からのホスタウン登録申請に際し、市町村の求めに応じ助言申請などの助言を行った。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・東京オリパラに向けた各種取組に関連する情報共有のため、北海道「東京オリンピック・パラリンピック」プロジェクト専門部会合同会議を年1～2回開催し、食の海外PRなどの機会を捉えた合同PRなどを実施している。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	・(公財)北海道体育協会が実施する事業への助成により、本道のスポーツの振興と指導者の養成を図るなど、団体との連携・協働が確認できる。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
C指標あり	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(5)B	北のTOPプロジェクトによる関係部局間の取組をより一層推進し、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う波及効果を本道の活性化に結びつける取組をより一層、推進する必要がある。			
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	施策コード	03	—	17
-----	--------------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見
前年度評価結果への対応（関与団体）	1115	障害者スポーツ振興費	自主財源の確保、事務事業の見直しによる経費の削減など、道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るような収支改善策を検討し、団体の自立化を推進すること。

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	施策コード	03 - 17
-----	--------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う波及効果を本道の活性化に結びつけるため、北のTOPプロジェクトによる関係部局間の連携を推進するほか、交流人口の拡大を図るため地域のスポーツコミッション機能の充実に向け支援するなど、本道の魅力を発信していく。 （新規：地域スポーツコミッション推進事業費）	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	世界で活躍するトップアスリートの育成	施策コード	03 — 17
-----	--------------------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果		0 事業	1 事業	3 事業	4 事業	0 事業	0 事業	4 事業	12 事業
反映結果		- 事業	1 事業	4 事業	3 事業	0 事業	0 事業	4 事業	12 事業

次年度新規事業 (予定)
事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
1111	北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費	現状維持	現状維持
1112	国民体育大会派遣費補助金	縮小	縮小
1113	スポーツ競技力向上推進事業費補助金	縮小	現状維持
1114	スポーツ団体活動費補助金	縮小	縮小
1115	障害者スポーツ振興費	現状維持	現状維持
1116	オリンピック・パラリンピック大会の招致及び開催効果の波及	現状維持	現状維持
1117	スポーツコミッションの設立	拡充	拡充
1118	冬季アジア札幌大会開催費補助金	終了	終了
1119	女性アスリート育成・支援プロジェクト事業費	終了	終了
1120	地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業費	終了	終了
1121	北海道Specialプロジェクト事業費	終了	終了

1122	スポーツ王国北海道事業費(北海道パラアスリート発掘プロジェクト)	縮小	縮小
------	----------------------------------	----	----

(2) 二次評価結果への対応

意見区分	整理番号	事務事業名	所管部局の対応(今後の方向性) (H30年3月末時点)
前年度評価 結果への対応 (関与団体)	1115	障害者スポーツ振興費	会員数の増加による会費収入の増や派遣役員数の見直し など事業の見直しによる経費の削減などについて、引き続き 団体と協議していく。